

所属・氏名（ 保健医療学部 診療放射線学科 氏名：田村 隆行）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書)第4版 MRI 応用自在	共著	2021年3月	メジカルビュー社	著書全体の概要: MRI の最新技術に関して、基礎や応用などを広く包括的に解説。 (総ページ数:515 頁) (高原太郎監修、編集:高橋光幸,堀江朋彦,中村理宣,北川久, 著者:田村隆行 他 103 名) 担当部分の概要:『拡散強調画像: Monoexponential と Biexponential』p116-118
2 ((著書)) 第2版 全国国立大学放射線技師会 MRI 安全管理ガイドライン	共著	2022年1月	全国国立大学放射線技師会	著書全体の概要: MRI 検査を行う際の安全に関するガイドラインを示した。(総ページ数:39 頁) (著書全体の著者名:齋藤宏明、佐川 肇、白石泰宏、鈴木雄一、田村隆行、船津亮平、松下利、森田康祐) 担当部分の概要:「3.対外金属」の執筆担当 (担当ページ:pp.19~22)
3 (学術論文) How to Improve the Conspicuity of Breast Tumors on Computed High b-value Diffusion-weighted Imaging 《筆頭論文》	共著	2019年2月	Magnetic Resonance in Medical Science	著書全体の概要:実際の乳腺腫瘍画像およびファントムを用いて Computed Diffusion-weighted Imaging の腫瘍描出能向上の方法を検討した。 (総ページ数:7 頁) (著書全体の著者名 Takayuki Tamura, Miyuki Takasu, Toru Higaki, Kazushi Yokomachi, Yuji Akiyama, Hiroomi Sumida, Yasushi Nagata, Kazuo Awai) 担当部分の概要:主研究者として全編にわたり (担当ページ:pp.119~125)
4 (学術論文) Aqueous Flare Changes in Ex-PRESS Glaucoma Shunt Eyes After 4.7 Tesla High-Field Magnetic Resonance Imaging	共著	2023年3月	Translational vision science & technology	論文全体の概要:眼内インプラントに対する高磁場 MRI の安全性についてウサギを用いた動物実験にて検証した。(当該論文のページ数:1-8 頁) (当該論文の著者名 Ayaka Edo; Momoko Nakamura-Shibasaki; Takayuki Tamura; Kazuyuki Hirooka; Yoshiaki Kiuchi) 担当部分の概要: MRI に関する実験デザインおよび撮影・解析を担当(担当ページ:共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
5 (発表) 明日からできる透視検査の術者・スタッフの被ばく低減技術	単独	2022年10月	第18回中四国放射線医療技術フォーラム	概要:放射線透視検査における術者・スタッフの被ばくに関する現状と有効な低減方法について解説した。 (発表者名:田村隆行)